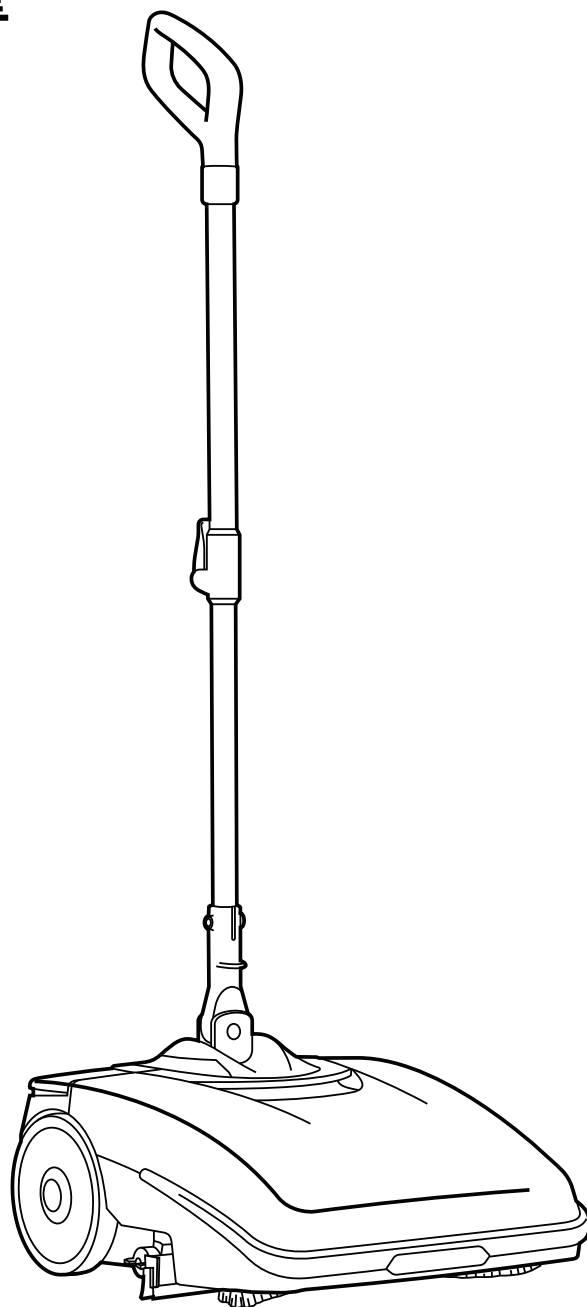




リンレイ HYGIENIC AUTOMOP

ハイジェニックオートモップ

取扱説明書



目次

安全に関する一般的注意事項	3
バッテリーを充電する.....	4
本機の使用の際に.....	4
本機を保管する際の注意	6
メンテナンス	6
本機の輸送に関する注意	7
本機の廃棄	7
この取扱説明書の記号について	8
本機に記されたシンボルマークについて	8
この取扱説明書の目的と内容	8
この取扱説明書の対象者	8
取扱説明書保管のお願い	8
本機納品時確認のお願い	8
本機のご使用にあたり	9
弊社へのご連絡、消耗品等のご発注の際は	9
本製品の概要	9
本製品の仕様について	9
安全は作業者の注意から	9
シリアル番号プレート	9
交換部品・消耗品	10
本機の梱包について	10
開梱の仕方	10
本機を移動する方法	10
バッテリーのタイプ	11
バッテリーを充電するときの注意	11
使用開始の準備	12
洗浄作業の準備	13
洗浄作業	14
洗浄作業終了時の取扱い	14
メンテナンス	16
トラブルシューティング	20
本機の廃棄	21
EC 適合の宣誓	21
お客様ご相談窓口	21

安全に関する一般的注意事項

下記の記号は潜在的な危険があることを示しています。使用場所の人員、器物を保護するため、この注意事項をよく読み、必要な措置を講じて下さい。事故防止にもっとも重要なのは作業者の協力です。マシンの操作に直接の責任がある作業者の協力がなければ、いかなる事故防止策も有効ではありません。

労働災害の多くは、安全規則の基本を守らないために作業中、移動中に発生します。安全に配慮し注意を怠らない作業者が事故を防止し、事故防止策の基礎となります。



危険: 傷害、死亡を生じる危険が差し迫っていることを示します



警告: 傷害、死亡を生じる危険な状況の恐れを示します



注意: 負傷する恐れのあることを示します



注意: 器物を傷つける恐れを示します



ノート: 機能・使用法についての記載があることを示します



取扱説明書: 使用する前に取扱説明書を読むよう指示しています

バッテリーを充電する

危険

- ・バッテリー充電器の電源コードが損傷、破損している場合は危険ですので使用せず、弊社・販売店に連絡して交換して下さい
- ・バッテリーと電気火花、火気、白熱灯などは安全な距離を取って下さい
- ・充電する前に充電ケーブルに損傷がないか点検し、もし損傷があれば使用せず、弊社・販売店に連絡して下さい
- ・充電器を使用する前に、ソケット部に損傷がないか確認し、もし損傷があれば使用せず、弊社・販売店に連絡して下さい
- ・充電中は、本機から充電コードを外すと火花が飛ぶので外さないで下さい。充電中にケーブルを外す場合は、まずコンセントからプラグを抜いて下さい

警告

- ・損傷や火災の危険があるので、本機付属以外の充電器、バッテリーを使用しないで下さい
- ・充電器ケーブルは、表面が熱いものから充分距離を取って下さい
- ・充電器の取扱説明書を使用する前によく読んで下さい
- ・濡れた手でソケットからケーブルを抜かないで下さい

本機の使用の際に

危険

- ・異常を感じた場合、本機の主電源を切り、バッテリーコンパートメントからバッテリーを外して下さい
- ・ガス、爆発物、可燃性の液体、粉体、酸あるいは溶剤を絶対に吸引しないで下さい
ガソリン、塗料シンナー、燃料・オイルなどはバキュームの空気と混合すると爆発の危険があり、希釈されていない酸、溶剤、アセトン、アルミニウム、マグネシウム粉末などは本機の部品を腐食させる危険があります
- ・ガソリンスタンドなど危険物を扱う場所で本機を使用するときは、関連する法令規則に照らして使用して下さい（防爆環境で本機を使用することはできません）

警告

- ・本機は講習、説明を受けた作業者のみが使用できます
- ・本機は、シリアル番号プレートに記載された角度以上の斜面で使用することはできません
- ・本機は、表面が荒れた場所、でこぼこした表面の床面で使用することはできません
- ・火災の場合、粉末消火剤を使用し、水は掛けしないで下さい
- ・作業スピードはその場所や周囲の状況に合わせた適切なものにして下さい
- ・本機が勝手に使われるのを防ぐためには、電源を切り、バッテリーをコンパートメントから外して下さい

- ・ 十分な知識なく、また所有者の承諾なしに本機を使用しないで下さい
- ・ この取扱説明書を読んで理解せずに本機を使用しないで下さい
- ・ 薬物、アルコールの影響下で本機を使用しないで下さい
- ・ 携帯電話ほかの電子機器を使用しながら本機を使わないで下さい
- ・ 本機に異常を感じた場合は使用を中止して下さい
- ・ 爆発性の液体の蒸気や粉体の充満している場所で本機を使用しないで下さい
- ・ フロントライトを点灯する場合を除き、暗くて安全に本機を使用できない場所では使わないで下さい

注意

- ・ 本機は、子供、および精神・感覚器の機能に障害を持つ方、および本機を扱った経験、知識のない方は、安全について責任ある方から指導されない限り使用することはできません
子供が本機で遊ばないように監督して下さい
- ・ 本機で作業中は周囲の状況、とくに子供に注意して下さい
- ・ シリアル番号プレートに記載された電圧でのみ本機は使用できます
- ・ 本機に貼られた注意ステッカーの意味を理解して使用して下さい
- ・ 本機は屋根のある屋内でのみ使用し、保管されるものとします
- ・ 本機は屋外の水が掛かる環境や、雨に濡れる場所で使用することはできません
- ・ 本機は有害な振動を起こしません
- ・ 取扱説明書に記載された方法でのみ使用して下さい
- ・ タバコ、マッチ、残り火など燃えているもの、煙の出ているものを掃き込まないで下さい
- ・ 洗剤の調合、使用、廃棄は洗剤容器の取扱説明に従って下さい

注意

- ・ 作業場所の通行人、器物に常に注意し、囲いを設けるなど適切な安全対策を講じて下さい
- ・ 陳列棚や足場との衝突に注意し、高所からものが落下の危険があるときは充分注意すること
- ・ 本機の上に飲み物などの容器を載せないこと
- ・ 本機は、温度は 0℃ ～ +40℃ の環境でのみ使うことができます
- ・ 洗剤を使用する際は、洗剤の容器にある取扱説明をよく読み、理解して使用すること
- ・ 洗剤の原液を扱うときは、手袋、ゴーグルなど保護具をいつも使用して下さい
- ・ 本機を移動させずにブラシを回転させると、床を傷つけることがありますので避けて下さい
- ・ 本機の開口部に異物を巻き込まないようにし、巻き込んだ状態で本機を稼働させてないこと
- ・ 本機の開口部にホコリ、糸くず、髪の毛などの異物を詰まらせないようにして下さい

- ・ 本体に貼られた注意ステッカー等をはがさないこと
- ・ 本機に付属する、または取扱説明書に記載されたブラシのみを使用して下さい
他のブラシを使用すると、本機と作業員の安全に問題が生じることがあります
- ・ 使用前に水漏れがないか確認して下さい
- ・ 作業の前に、タンクのキャップなどが確実に閉じているか、安全を確認して下さい
- ・ 作業時は、頭髮、宝飾品、緩い衣服等が本機の可動部に巻き込まれないよう注意して下さい
- ・ 明るい場所でのみ本機を使用して下さい



洗浄液タンク、汚水回収タンクに水が入って入るときは、水漏れを防ぐため、本機を立て掛けないで下さい

本機を保管する際の注意



警告

- ・ 使用時、保管時を問わず、直射日光、雨などを避け、乾燥した屋内に保管して下さい
本機は乾燥した場所で使うことを意図しており、屋外の濡れた場所での使用、保管はしないで下さい
- ・ 燃えやすい粉体、液体、ガスの側に本機を保管しないで下さい
- ・ 平らなフロアで保管して下さい
- ・ メインスイッチを切り、バッテリーコンパートメントからバッテリーを外して下さい
- ・ 本機を保管する際は、誤って動かないように保管して下さい



注意

- ・ 本機を勝手に動かされないよう、メインスイッチを切り、バッテリーをコンパートメントから外して下さい



注意

- ・ 本機は、温度は0℃～+40℃、湿度は30%～95%の環境でのみ使うことができます

メンテナンス



危険

- ・ 本機で作業をする際に通電している箇所からの感電・漏電の危険を避けるため、絶縁なしの工具を使用しない、本機に金属でできたものを落としたり置いたりしない、指輪、時計を外す、金属パーツのある衣服などを着用しない、などの注意を行ってください

 警告

- ・作業、メンテナンス、修理の前に取扱説明書の該当箇所の指示をよく読んで下さい
- ・本機が正しく動かない場合は、日常メンテナンスが行われていないことが原因か確認し、そうでない場合は弊社または販売代理店に連絡して下さい
- ・メンテナンス終了後にバッテリーを接続し直して下さい

 注意

- ・いかなるメンテナンスも、メインスイッチを切り、バッテリーをコンパートメントから外して行うこと
- ・稼働するパーツに巻き込まれないよう、緩い服装や装飾品を避け、髪の毛はまとめること

 注意

- ・いかなる理由でも本機の保護機構を改造せず、指示されたメンテナンス項目を厳守すること
- ・本機の使用中に通常と違う感覚があった場合、日常メンテナンスが行われていないことが原因か確認し、そうでない場合は弊社または販売代理店に連絡して下さい
- ・本機の構成部品、消耗品を交換する際は、必ず弊社または販売代理店が供給する正規部品を使用して下さい
- ・本機を正しく安全に使用するために、取扱説明書に記載されたメンテナンスを実行して下さい
- ・本機を高圧洗浄機、または腐食の可能性のある溶剤等で洗わないで下さい
- ・弊社、販売代理店のサービスマンにより1年に一回点検を受けると安定して使用できます
- ・消耗品、部材を廃棄する際は、その地域の法令諸規則に従って処分して下さい
本機を処分する際、部材はリサイクル可能なもので構成されているので適正に行って下さい
- ・修理はすべて弊社または販売代理店のサービスマンに行わせて下さい。
- ・本機の改造・改変はしないこと

本機の輸送に関する注意

 警告

- ・輸送の前に洗浄水タンク、汚水回収タンクとも必ず排水すること
- ・スクイジーを待機ポジションにすること
- ・バッテリーコンパートメントからバッテリーを外すこと

本機の廃棄

 注意

- ・リチウムイオンバッテリーなどリサイクル可能なもの、有害なものを含みますので、本機の使用を終わるときは、その地域の法令・諸規則に従って産業廃棄物として適正に処分して下さい

この取扱説明書の記載は弊社がその部分、詳細を随時変更することができ、製品の改善、製造、販売の都合のためにアクセサリも含み変更を行うことができます。

この取扱説明書の文面、イラストは、部分的であっても複製を禁じられています。

弊社は技術的/供給上の都合により、いかなる変更を行うこともできるものとします。

イラストは概念図で必ずしも実際の製品や設計と合致しないことがあります。

この取扱説明書の記号について

 開いた本の記号で "i" がある：取扱説明書を参照すること

 開いた本の記号：本機を操作する前に取扱説明書を読むこと

 覆われたスペースの記号：この作業は屋内の乾燥した場所で行うこと

 警告の記号：作業者と本機の安全のために、この記号のある事項は慎重に読み、指示に従うこと

 保護手袋の記号：手指の保護のために保護手袋を着用すること

 工具の記号：本機に付属していない工具が必要なこと

 爆発の危険ありの記号：バッテリーは取扱説明書にある指示に従わない場合、ある条件で爆発の危険があること

 廃棄時の注意の記号：本機の廃棄時に注意すべき事項

 リサイクルの記号：その地域の環境に関する法令・規則に沿って廃棄物として処分することを作業者に求める記号

 タンク排水の記号：作業者に給水のたびに汚水回収タンクを空にする必要があることを示す記号

 洗浄液タンク給水の記号：洗浄液タンクに給水するにあたっての注意事項の記号

本機に記されたシンボルマークについて

 ① メインスイッチ：本機の後でメインスイッチを示します

 ソレノイドバルブスイッチ：本機の後ろにあり、洗浄水を出すソレノイドバルブのスイッチを示します

 スクイジー作業時の位置：スクイジーコントロールノブの回転方向を示し、スクイジーゴムが床に触れていることを示す

 スクイジー待機位置：スクイジーコントロールノブの回転方向を示し、スクイジーゴムが床から離れていることを示す

 持ち上げるポイント：本機を持ち上げる際に手の位置、また可動部品の動きを示すシンボル

OPEN “OPEN” のシンボル：本機の上にあるフロントカバーを開ける位置を示すシンボル

 警告シンボル：タンクに水が入った状態で本機を立てないこと
洗浄液タンク、汚水回収タンクに水が入った状態で本機を立てないことのシンボル

この取扱説明書の目的と内容

この取扱説明書の目的は顧客に本機を安全、適切かつ自律的に使用してもらうために必要な情報を提供することです。その内容には技術的、安全に関する事項、不具合時、メンテナンス、スペアパーツや消耗品、処分に関するものがあり、本機を使用する前によく読んで理解する必要があります。

本取扱説明書の正しい解釈に疑問がある場合は、弊社が販売代理店に連絡をお願いします。

この取扱説明書の対象者

この取扱説明書は、作業者の方と講習を受けたサービス担当者を対象としています。作業者の方は、サービス担当者の行う作業は行わないで下さい。これに従わない場合に発生した損害について弊社は責任を負いません。

取扱説明書保管のお願い

取扱説明書は、汚れや水濡れからまもるケースに入れ、本機の側に保管して下さい。

紛失、読めなくなった場合は、弊社に連絡下さい。

本機納品時確認のお願い

本機がお客様に届いた際に、送り状に記載されているすべてのアイテムが揃っているか確認して下さい。また、本機が輸送の途中で損傷を受けていないか確認して下さい。万一損傷が見つかった場合は、配送業者にただちに損傷の状況を確認してもらい、弊社にも連絡頂くようお願いいたします。お早目の連絡により、不足しているパーツの手配、損傷の補償が速やかに行われますのでよろしくお願い致します。

本機のご使用にあたり

本機は、取扱説明書の指示に沿った正しい使い方をし、メンテナンスも適切に行うことではじめて適切に稼働します。この取扱説明書をよく読み、また本機使用中に何か問題が生じた際にも読んで下さい。ご不審な点、ご質問はいつでも弊社、または販売店にお寄せ下さい。

弊社へのご連絡、消耗品等のご発注の際は

弊社、販売店にご連絡の際、また消耗品のご発注の際は、機種名、シリアル番号(本機内部のプレートに記載)伝えて頂くと手配がスムーズです。

本製品の概要

本機は、シリンドラブラシの機械的な機構と、洗浄液の作用により、幅広い床素材、および汚れを洗浄できる床洗浄機です。前進時に床に残った汚水と汚れを回収します。本機はこの目的のためだけに使用して下さい。

本製品の仕様について

本機は商業施設、住居、倉庫などで、使用法の説明を受け、取扱説明書を読んで理解した作業者が、安全に配慮しながら、平滑なハードフロアの洗浄および乾燥作業を行うために設計・製造されました。本機は、カーペット、ラグの洗浄には使えません。屋根のある屋内環境での使用しかできません。

 **警告：** 雨の掛かる場所、水しぶきや洗浄機のある場所では使用できません

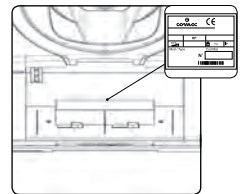
本機で危険な粉塵、可燃物の液体を回収すること、防爆環境での使用は禁じます。人員や物の運搬に使用しないで下さい。

安全は作業者の注意から

事故防止にもっとも重要なのは作業者の協力です。マシンの操作に直接の責任がある作業者の協力がなければ、いかなる事故防止策も有効ではありません。労働災害の多くは、安全規則の基本を守らないために作業中、移動中に発生します。安全に配慮し注意を怠らない作業者が事故を防止し、事故防止策の基礎となります。

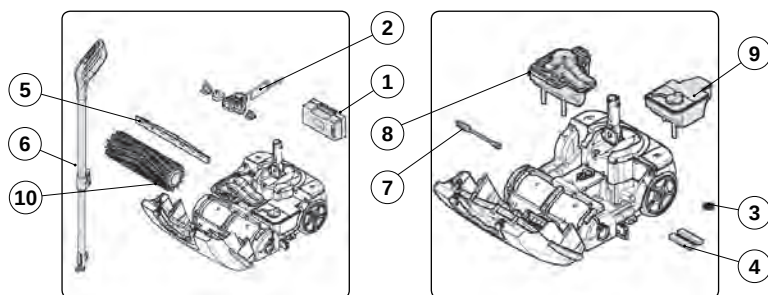
シリアル番号プレート

シリアル番号プレートは、本機後部のバッテリーコンパートメントの内部にあり、本機の基本仕様、シリアル番号が記載されています。サービス依頼時などにシリアル番号を連絡すると円滑にサービスが進みます。



本機のおもな仕様	単位	AutoMop
総出力	W	150
洗浄幅	mm	340
洗浄能力 (最大)	m ² /h	680
洗浄ブラシ (数量 / 直径 x 長さ)	No. / (Ømm x mm)	1 / (110 x 340)
ブラシモーター (定格)	V / W	24 / 50
吸引モーター (定格)	V / W	24 / 100
登坂角	%	2
洗浄液タンク容量	L	1.2
汚水回収タンク容量	L	1
本体長さ	mm	430
本体高さ	mm	215
立てたときの寸法 (L x h x w)	mm	395 x 1295 x 445
折りたたんだときの寸法 (L x h x w)	mm	395 x 915 x 365
バッテリー電圧	V / mAh	25.55 / 5200
バッテリー質量	kg	1
本体質量(本体 + ブラシ + スクイジー)	kg	9
本体質量 (本体 + バッテリー + ブラシ + スクイジー)	kg	10
本体質量 (満水時) (本体 + バッテリー + 洗浄液 + ブラシ + スクイジー)	kg	11.4
騒音レベル (ISO 11201) - L _{pa}	dB (A)	<70
騒音誤差 K _{pa}	dB (A)	1.5
手の振動レベル(ISO 5349)	m/s ²	< 2.5
振動計測の誤差		4%

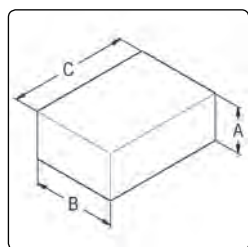
交換部品・消耗品



No.	品番	数量	品目
①	440974	1	バッテリー
②	441033	1	充電器
③	439888	1	洗浄液フィルター
④	441025	2	アンチダストフィルター
⑤	224800	1	スクイジーラバーキット
⑥	224615	1	コントロールハンドルバー
⑦	441023	1	クリーニングブラシチューブ
⑧	227332	1	汚水回収タンク
⑨	224619	1	洗浄液タンク
⑩	440905	1	ソフトブラシ
	440904	1	ハードブラシ

本機の梱包について

本機は専用の梱包で納品されます。プラスチック袋、クリップなど梱包資材は子供、障害のある方にとって危険なものもありますので、手の届くところに置かないで下さい。梱包の総重量は18kgです。



寸法は下記の通りです。

寸法	単位	AutoMop
A	mm	270
B	mm	487
C	mm	698

開梱の仕方

開梱作業は以下のように行って下さい

1. 段ボール箱を平らな床面に置く

⚠ 注意：箱のピクトグラム（絵文字）を参照下さい

2. 外箱を開ける
3. アクセサリー類を取り出し、静かに床に置く
4. 本体を取り出す

⚠ 注意：発送する場合に備えて段ボール箱を保管しておいて下さい

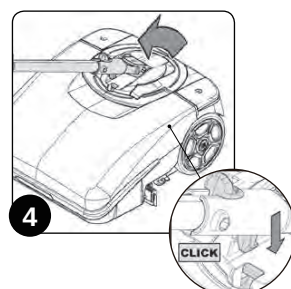
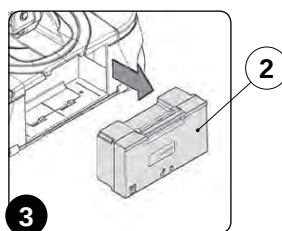
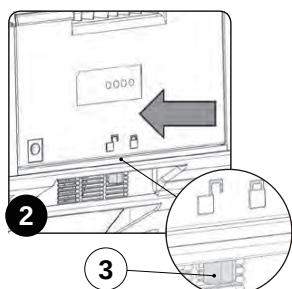
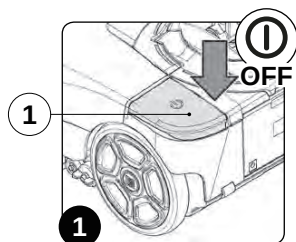
🧤 注意：開梱作業は段ボールやステープルなどの金属から守るため手袋をして行って下さい

本機を移動する方法

本機を安全に移動させる方法は次の通りです

1. 本機が作動しているときは、メインスイッチ①を切して下さい（図①）
2. 汚水回収タンクが空なことを確認して下さい（水が入っていれば排水して下さい）
3. 洗浄液タンクが空なことを確認して下さい（水が入っていれば排水して下さい）
4. 本機後ろ下面のストッパバー③を矢印方向にスライドさせ（図②）、バッテリー②を引き出します（図③）
5. ハンドルバーを床に並行になるまで前に倒して固定して下さい（図④）

⚠ 注意：足がメインスイッチに当たらないようにして下さい



6. コマンドハンドルバーのストップレバー④を矢印の方向に開放する (図 ⑤)
7. コマンドハンドルバーをボディの方に押し込む (図 ⑥)
8. コマンドハンドルバーのストップレバー④を締めて固定する (図 ⑦)
9. 本機を持ち上げるには、ボディの丸いハンドル⑥を持つ (図 ⑧)



- ⚠ 注意：本体を倒立する際は清水タンクと汚水タンクを必ず空にすること
- ⚠ 注意：本機を自動車で運ぶ際は、移動や損傷を防ぐため、しっかりと固定して下さい
- 🧤 注意：手を挟むことがあるので、手袋の着用が推奨されます

⚠ 洗剤液タンク、汚水回収タンクに水が入っている場合、水漏れの恐れがあるので本機を立て掛けないで下さい

バッテリーのタイプ

本機は付属のバッテリー、または弊社、販売店から供給するバッテリーのみを使用して下さい。これ以外のバッテリーは使用しないで下さい。本機はリチウムイオンバッテリーで駆動します。バッテリーコンパートメントには 25.55Vバッテリー1個が収納されます。

📖 警告：バッテリーの保守、廃棄についてはバッテリー取扱説明書をよく読んで下さい

バッテリーを充電するときの注意

初めて本機を使用する前にバッテリーは充電して下さい。本機的能力が落ちてきたと感じたときには充電を行って下さい。充電の方法は下記の通りです。

1. 本機を充電する場所に移動する

⚠ 警告：充電する場所は換気を確保して下さい

2. 本機が稼働していたらメインスイッチ①を切して下さい (図 ①)
3. ハンドルを垂直位置に立てて固定します

⚠ 注意：本機に足を掛けないこと

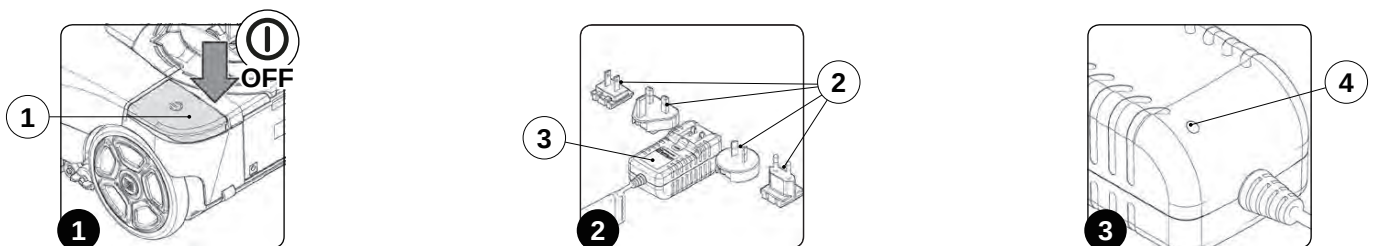
4. 電源プラグ②をパワーバック③に接続する前に、充電器の説明書をよく読むこと (図 ②)

📖 注意：バッテリー充電器をコンセントに挿す前に、電源が仕様（100V 50/60Hz）と合っているか確認すること

🏠 警告：充電器は屋内でのみ使用して下さい

5. コンセントに電源プラグ②を差し込む

⚠ 警告：バッテリー充電器のLED④が点灯しているか確認して下さい (図 ③) 充電器の回路に通電しているか分かります



6. 本機後ろのバッテリーソケットのカバー⑤を外す (図 ④)

7. バッテリー電源ケーブルのプラグ⑥をソケット⑦に差し込む (図 ⑤)

⚠ 警告：バッテリー充電器のLED ④が点灯しているか確認して下さい (図 ③)
これにより、充電器の回路に通電しているか分かります

⚠ 警告：プラグ⑥をソケット⑦に差し込む前に、バッテリーコンパートメントに汚れやホコリの堆積、水濡れがないか確認して下さい

⚠ 注意：プラグ⑥をソケット⑦に差し込んだとき、赤いLED④が点灯するか確認して下さい。バッテリーが充電中か分かります

8. 完全に充電されるまでそのままにします

⚠ 注意：バッテリーが完全に充電されるまで赤いLED④が点灯し、充電後に赤いLEDが消え、緑のLEDが点灯します

⚠ 注意：充電器、バッテリーは電源に接続したままにでき、補充電を行う際は赤いLED④が点灯します

⚠ 注意：赤いLED④の点灯は、バッテリーの充電レベルとは関係ありません

⚠ 注意：充電中、バッテリーは熱くなることがありますが、通常のことであり異常が生じているわけではありません

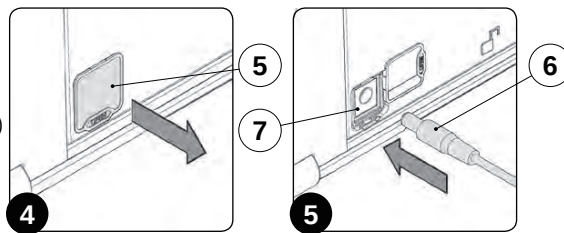
⚠ 注意：バッテリーが過充電になると、火災、爆発、化学やけどの危険があります

9. 充電サイクルが完了したら、コンセントからプラグ②を抜きます

⚠ 注意：電源ケーブル、プラグの損傷を防ぐため、コンセントの抜き差しはケーブルでなく必ずプラグを持って行って下さい

10. バッテリーのソケット⑦から電源コードプラグ⑥を抜いて下さい

11. バッテリーパワーソケットのキャップ⑤をはめる



使用開始の準備

1. 段ボールの梱包ごと開梱する場所に運ぶ

2. 開梱し、本体とすべてのアクセサリー類を取り出す

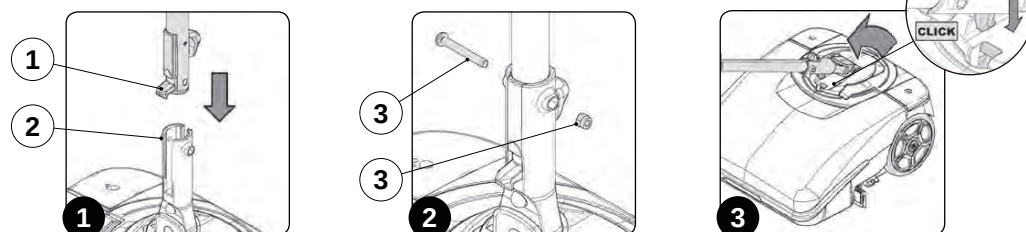
3. ハンドルバーの下部分を本体のジョイント②に差し込む (図 ①)

4. ハンドルバーをネジとナット③を+ドライバーで固定する。ジョイントの穴とハンドルバーの穴の両方を通すこと (図 ②)

⊗ ノート：ドライバーは同梱されていません

5. ハンドルバーを水平にし、前に倒して固定する (図 ③)

⚠ 注意：足でメインスイッチに触れないようにすること

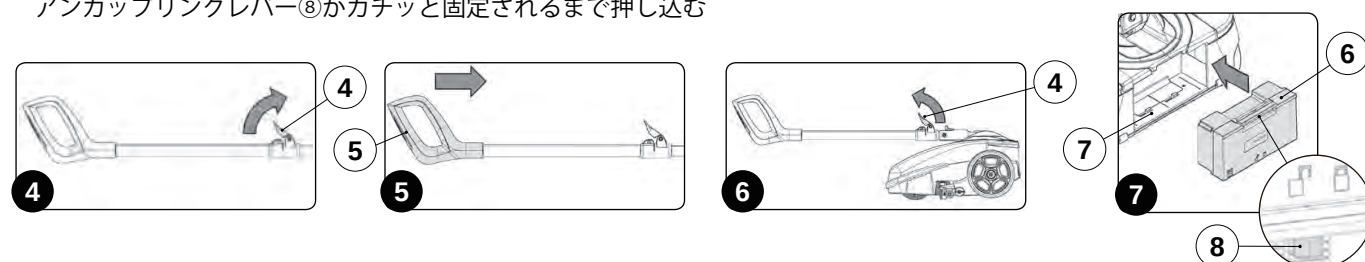


6. ハンドルバーのストップレバー④を開放する (図 ④)

7. ハンドルバーをボディの方に縮める (図 ⑤)

8. ハンドルバーのストップレバー④を締めて固定する (図 ⑥)

9. バッテリー⑥を本機後ろのバッテリーコンパートメント⑦に挿入する (図 ⑦)
アンカプリングレバー⑧がカチッと固定されるまで押し込む



洗浄作業の準備

洗浄作業を始める前に下記の準備をして下さい

📖 ノート：初めて使用する前にバッテリーをフル充電して下さい（「バッテリーを充電する」の項参照）

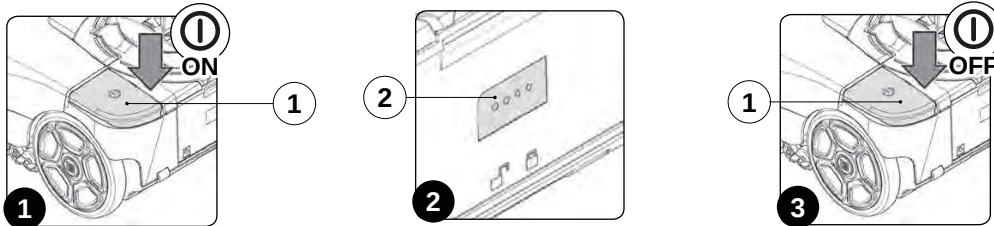
1. 本機を使用する前に、損傷のあるなしを確認し、万一不具合のある場合は使用をやめて下さい
2. ハンドルバーを垂直にする

⚠ 注意：ハンドルバーを立てるときに、本機に足を掛けしないで下さい

3. メインスイッチ①を押して本機の電源を入れます（図①）

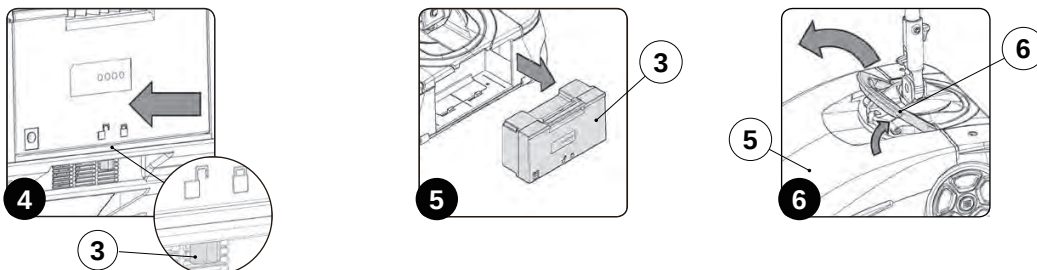
① ノート：メインスイッチ①のLEDが点灯すると通電していることを示します（図①）

4. バッテリーに4つあるLED②で充電レベルを確認し、LEDが4つ点灯していればフル充電を示し、4つ全部消えて入れば完全に放電していることを示します（図②）
5. メインスイッチ①を切ります（図③）



6. ストップレバー④をスライドし、バッテリーをコンパートメントから取り出す（図④）
7. バッテリーをコンパートメントから引き出して外す（図⑤）
8. スクイジーラバーに切れや摩耗がないか状態を確認します、すり減って汚水が回収できないなら交換します（「メンテナンス」の項参照）
9. ブラシが減っていないか確認します、毛の長さが10mm以下の場合は交換します（「メンテナンス」の項参照）
10. 丸いハンドル⑥を持ち、フロントカバー⑤を前方に持ち上げる（図⑥）

🧤 注意：手を保護するために手袋の着用を推奨します



11. 本機前方の洗浄液タンクを外す（図⑦）
12. 洗浄液タンクのキャップ⑦を外す（図⑧）
13. 水道水を入れる（水の温度は10℃以上50℃以下）
14. 液体の洗剤を使用書に従った希釈率で入れる

📖 ノート：洗剤の泡が多く立つと、バキュームモーターが吸い込んで損傷するので、洗剤の量は必要最小限にすること

📖 ノート：必ず低発泡性の洗浄機用の洗剤を使用して下さい。pHが4～10の範囲を超える酸やアルカリ洗剤、また溶剤は使用しないで下さい。漂白剤、塩素、臭素、ホルムアルデヒド、銲物性溶剤は使用しないで下さい

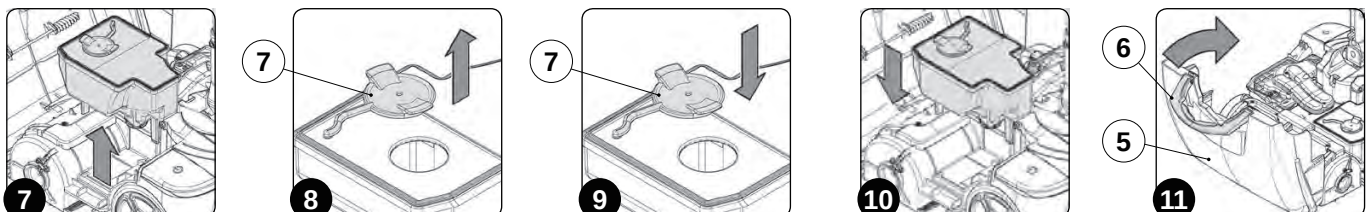
🧤 注意：アルカリ、酸、洗剤を扱う際は手指の保護のため手袋を装着して下さい

📖 ノート：低発泡性の洗剤を使用し、必要なら微量の消泡剤を汚水回収タンクに作業前に入れること（酸は使用不可）

15. 洗浄液タンクのキャップ⑦を閉める（図⑨）

📖 ノート：洗浄液タンクに給水するたびに汚水回収タンクを空にする習慣を付けて下さい

16. 本機に洗浄液タンクを戻す（図⑩）
17. フロントカバーを戻す（図⑪）
18. バッテリーをコンパートメントに戻す



洗浄作業

洗浄作業の前の準備は下記のとおりです

1. 前章の清掃作業の準備を行う
2. スクイジーボディが洗浄する床に接しているか確認すること、もし接していなければノブ①を矢印の方向に回して下さること (図 ①)

① ノート：(図 ①) は後ろから見て本機の右側を示しており、ノブは右手で調整することになります

3. ハンドルバーを垂直位置から作業しやすい角度に倒す

⚠ 注意：ハンドルバーを操作するときは本機に足を掛けしないで下さい

4. ハンドルバーの高さを調整し固定する

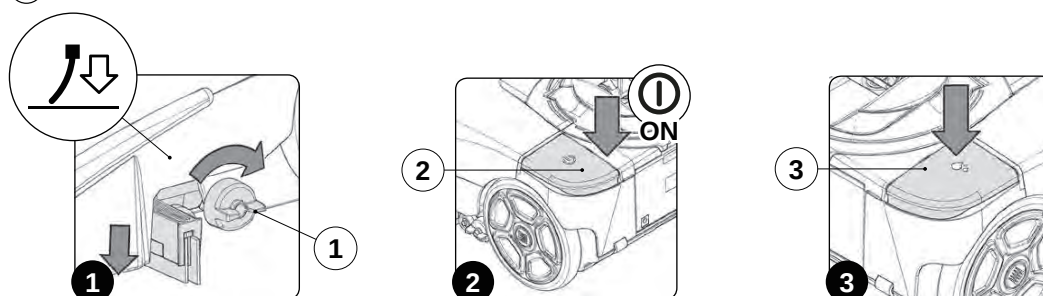
5. メインスイッチ②で本機をスタートさせる (図 ②)

① ノート：メインスイッチ②のLEDが点灯したら通電されていることを示します (図 ②)

① ノート：本機を作動させるとフロント部のLEDが点灯し、ブラシモーターと吸引モーターが作動します

6. 本機右側の洗浄液ポンプのスイッチ③を押すと洗浄液が吐出されます (図 ③)

① ノート：ポンプコントロールスイッチ③のLEDが点灯したら、洗浄液を吐出していることを示します (図 ③)



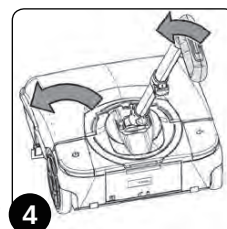
7. これで本機は稼働し、バッテリーがなくなるか、洗浄液が終わるまで洗浄することができます

① ノート：本機のジョイントにより、ハンドルを右に回せば右に、左に回せば左に、本体を自由に動かして洗浄作業ができます (図 ④)

① ノート：後ろ向きに洗浄したい場合は、本体を180°回して後ろに下がって下さい

① ノート：ハンドルバーを垂直にしたときは、ブラシモーターと洗浄液ポンプが停止し、数秒後に吸引モーターも止まります

① ノート：使用中にバッテリー充電レベルが一定の水準になると、ブラシモーターと洗浄水ポンプが停止し、数秒後に吸引モーターも停止しますが、メインスイッチとポンプのLEDは点灯したままです



洗浄作業終了後の取扱い

洗浄作業を終えるときは、日常のメンテナンスの前に以下のことを行って下さい

1. メインスイッチ①を切る (図 ①)
2. ハンドルバーを垂直に立てる

⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、脚を本機に掛けしないで下さい

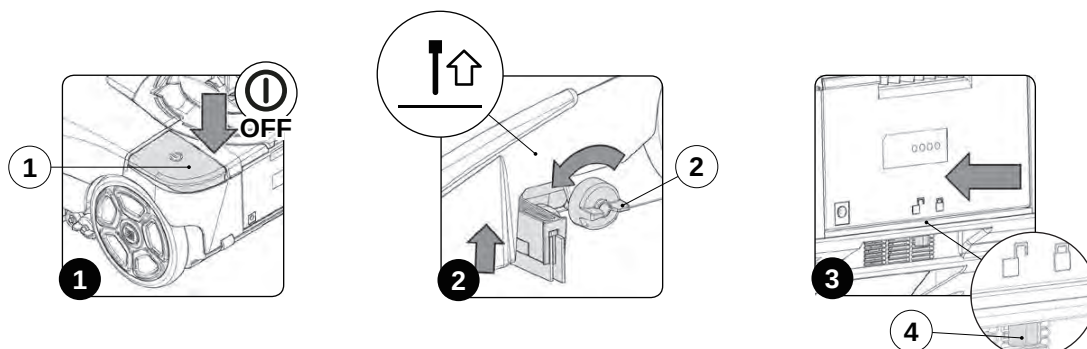
3. スクイジーボディを床から上げ、本体のノブ②を矢印（反時計回り）方法に回す (図 ②)

① 注意：スクイジーボディを上下するノブは、本体両側にあります (図 ②)

4. 本機を適切に排水できる場所まで移動して下さい

♻ 注意：汚水の処分はその場所の法令・諸規則で認められている方法で行って下さい

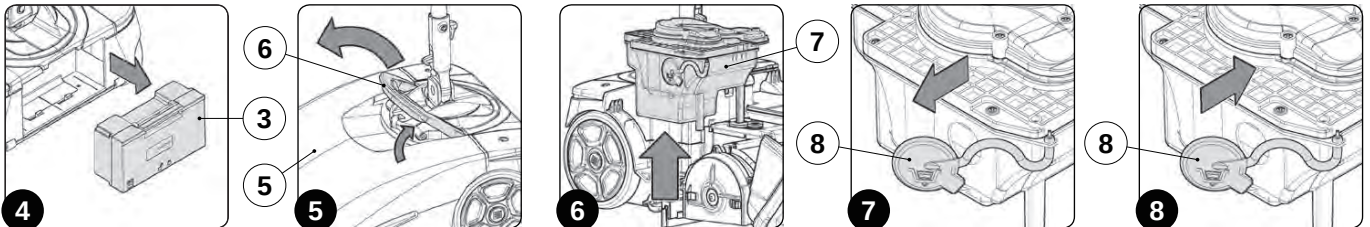
5. ストップレバーを矢印方向にスライド④させ、バッテリーをバッテリーコンパートメントから外します (図 ③)



6. バッテリーのくぼみに指を掛け、スライドを矢印方法にずらして引き出します (図 4)
7. 丸いハンドル⑥を持ってフロントカバー⑤を前に開けます (図 5)

 **注意：**エッジ部金属部品から手指を護るため手袋の着用を推奨します

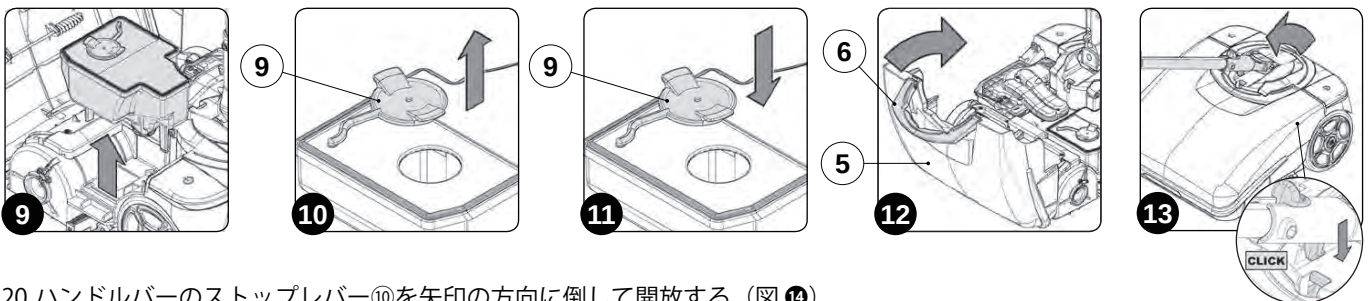
8. 汚水回収タンク⑦を本体から外す (図 6)
9. 排水プラグ⑧をタンクから外す (図 7)
10. 汚水回収タンクを排水し、中を水道水で洗い流す
11. 排水プラグ⑧を閉める (図 8)



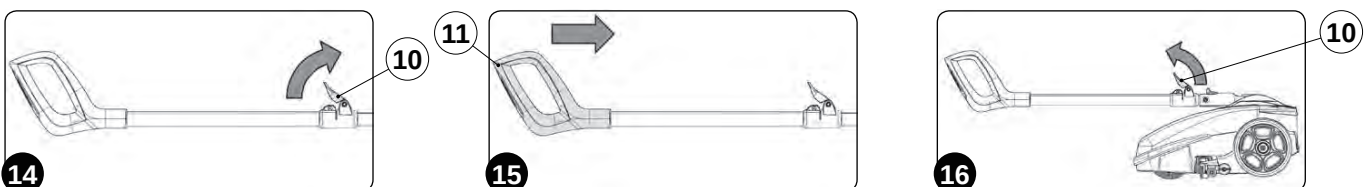
 **注意：**アルカリ、酸性を問わず、洗剤を扱う際は保護手袋をして手指を保護して下さい

12. 洗浄液タンクを本体から外す (図 9)
13. 洗浄液タンクのキャップ⑨を外す (図 10)
14. 洗浄水の残りを排水する
15. 水道水でタンクの中を洗い流す
16. キャップを閉める (図 11)
17. 洗浄水タンクを先に本体に戻し、次いで汚水回収タンクを戻す
18. ハンドル⑥を持ってフロントカバーを戻す (図 12)
19. ハンドルバーを垂直位置にする (図 13)

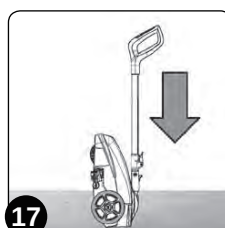
 **注意：**ハンドルバーを立てる際、脚を本機に掛けないで下さい



20. ハンドルバーのストップレバー⑩を矢印の方向に倒して開放する (図 14)
21. コマンドハンドルバー⑪を押してバーを縮める (図 15)
22. コマンドハンドルバーのレバーを矢印の方に倒して締める (図 16)



23. 本機を保管場所に移動する
24. 本機の後部を床に立てて保管する (図 17)



 **警告：**本機は屋内の平らな場所で保管し、周囲に本機を傷つけるもの、また本機が損傷を与えないように注意して下さい

メンテナンス

本機を使用後、毎回次の操作をして下さい

1. メインスイッチ①を切る (図 ①)
2. ハンドルバーを垂直位置に立てる

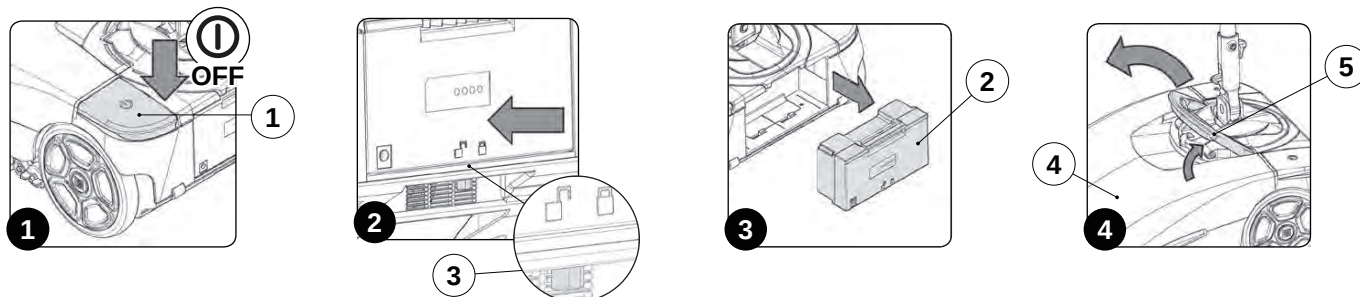
⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、本機に足を掛けしないで下さい

3. 本機をメンテナンスのできる場所に移動する

🔄 ノート：メンテナンスは、諸規則や建物のルール上問題のない場所で行って下さい

4. バッテリーをストップレバー③を矢印方向にずらして引き出し、バッテリーコンパートメントから外します (図 ②)
5. バッテリー②をコンパートメントから外す (図 ③)
6. 丸いハンドル⑤を持ってフロントカバー④を開ける (図 ④)

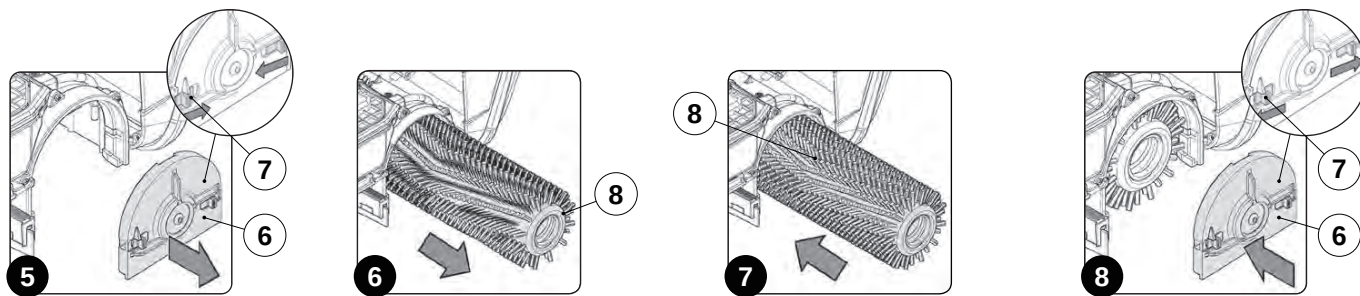
🧤 注意：エッジ部、金属部品から手指を護るため、保護グローブの着用を推奨します



7. レバー⑦を矢印方向（内側）にスライドさせてトンネルカバー⑥を外す (図 ⑤)
8. ブラシ⑧を取り出す (図 ⑥)

⚠ 注意：この操作の間、コントロールハンドルバーを、本機が動かないよう固定しておいて下さい

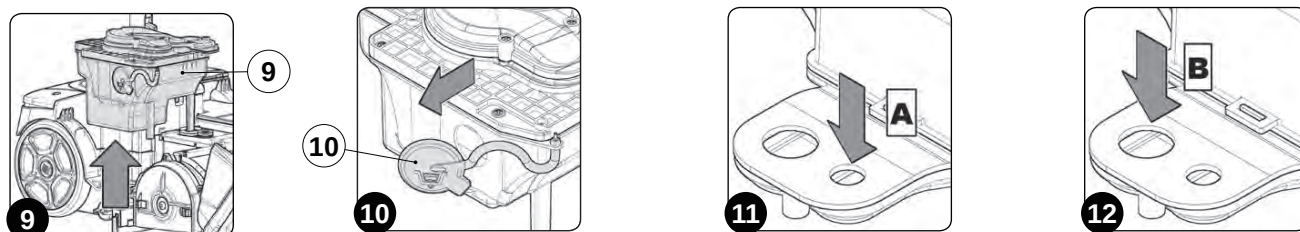
9. 外したブラシを流水で洗い、毛の中の泥、汚れ、繊維、髪の毛を取り出す
ブラシの毛の消耗度合いを確認し、10mm以下になっていたら交換して下さい
10. 洗浄したブラシを本体に戻す際は、ブラシモーターのピン⑧に合わせて差し込みます
(ブラシは一方のみ差し込みます) (図 ⑦)
11. トンネルカバー⑥を戻し、ストップレバー⑦を外側にスライドさせて固定する (図 ⑧)



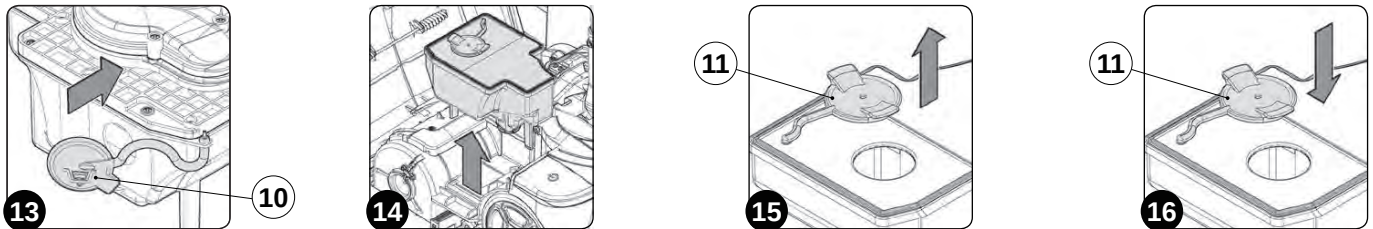
12. 汚水回収タンク⑨を本体から外す (図 ⑨)
13. 汚水回収タンクの排水プラグ⑩を外す (図 ⑩)

🧤 注意：アルカリ、酸、洗剤を扱う際は手を保護するために手袋を装着して下さい

14. 吸引バキュームのエアチャネルチャンバー [A] を清掃して下さい (図 ⑪) (エアブローがあれば使用して下さい)
15. 汚水チャンバーのインレット [B] を清掃して下さい (図 ⑫) (エアブローがあれば使用して下さい)



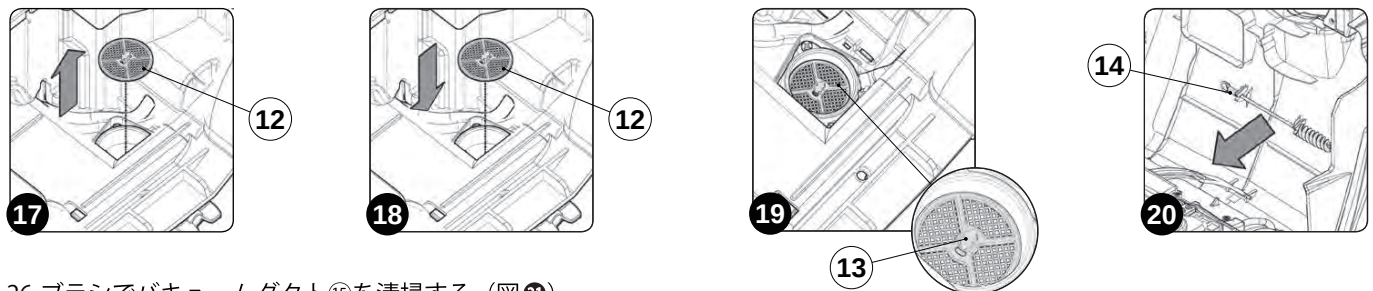
- 16.流水で汚水回収タンクの中を洗って下さい、曲がっている場所はゴミが詰まりやすいので取除いて下さい
- 17.排水キャップ⑩を閉めます (図 13)
- 18.洗浄液タンクを本体から外す (図 14)
- 19.洗浄液タンクのキャップ⑪を外す (図 15)
- 20.水道水でタンクの中を洗う
- 21.洗浄液タンクのキャップ⑪を閉める (図 16)



- 22.フィルターカートリッジ⑫を外し、水道水で汚れ、詰まりを洗い流す、破れがあれば交換する (図 17)
- 23.フィルターカートリッジ⑫を本体に戻す (図 18)

⚠ 注意：フィルターカートリッジを戻す際、フィルター中央のバルブアクチベーションビン⑬が上にあるように置く (図 19)

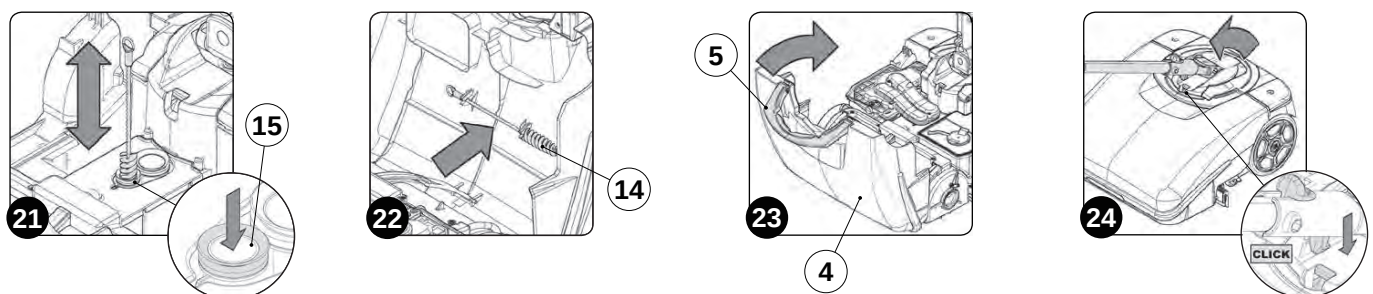
- 24.洗浄液タンクを先に本体に戻し、のちに汚水回収タンクを戻す
- 25.バキュームダクトクリーニングブラシ⑭をサポートから外す (図 20)



- 26.ブラシでバキュームダクト⑮を清掃する (図 21)
- 27.ブラシ⑭をサポートに戻す (図 22)
- 28.丸いハンドル⑤を持ってフロントカバー④を閉める (図 23)
- 29.ハンドルバーを垂直位置にする (図 24)

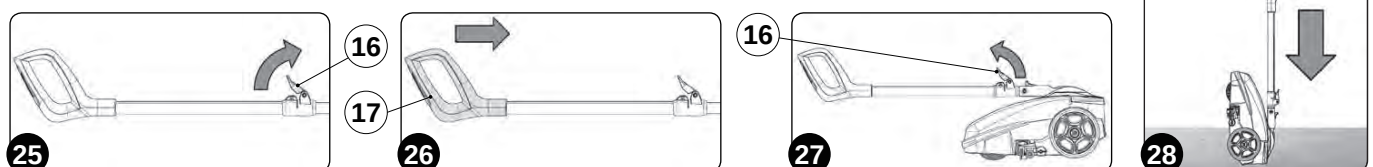
⚠ 注意：ハンドルバーを立てる際、本機に足を掛けしないで下さい

- 30.コマンドハンドルバーのストップレバーを矢印の方向に開放する (図 25)
- 31.コマンドハンドルバーを縮める (図 26)



- 32.コマンドハンドルバー⑬のレバーを締めて固定する (図 27)
- 33.本機の後ろを床に立てた状態で保管する (図 28)

⚠ 注意：本体を倒立する際は清水タンクと汚水タンクを必ず空にすること



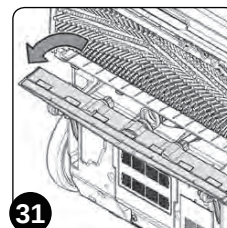
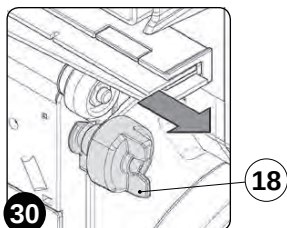
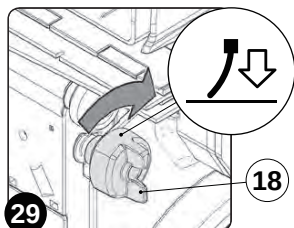
34. スクイジーボディを作業時のように出ていることを確認し、出ていない場合、ノブ⑮を矢印の方向に回して出す (図 29)

⚠ 注意：スクイジー高さ調節ノブは本体両側にある (図 29)

35. スクイジーカップリングをメンテナンス位置にし、ノブ⑮を外側に動かします (図 30)

スクイジーカップリングを手前側に回します (図 31)

⚠ 注意：左右両側のノブに行ってください



36. バキュームノズルダクト⑲の清掃にはウェスを使用して下さい (図 32)

⚠ 注意：バキュームノズルの上のシール⑳をなくしたり、損傷したりしないようにして下さい (図 32)

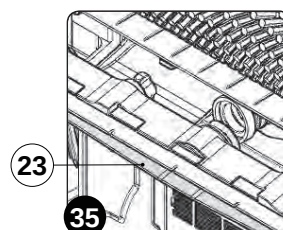
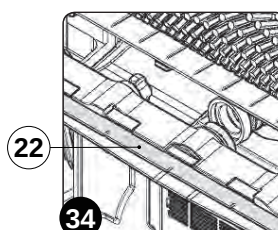
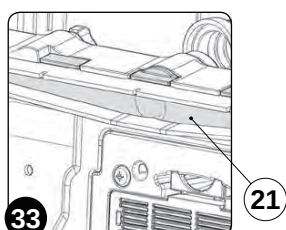
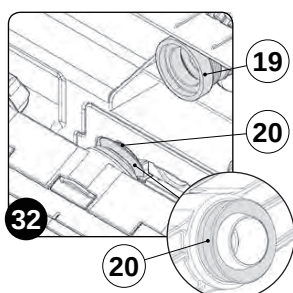
37. スクイジーのバキュームチャンバー㉑の清掃にはウェスを使用して下さい (図 33)

38. スクイジーのフロントラバー㉒の清掃にはウェスを使用して下さい (図 34)

スクイジーボディのフロントラバーの摩耗、切れなどがなければ確認し、摩耗していたら交換して下さい

39. スクイジー㉓の清掃にはウェスを使用して下さい (図 35)

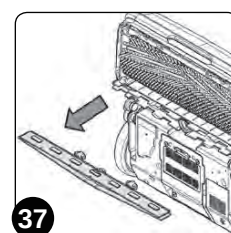
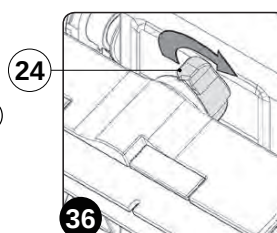
スクイジーボディのリヤラバーの摩耗、切れなどがなければ確認し、摩耗していたら交換して下さい



スクイジーラバーのメンテナンスを行うことで、汚水の回収が適正に行えます

スクイジーラバーの交換は下記の要領で行って下さい：

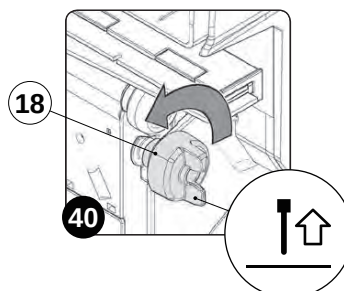
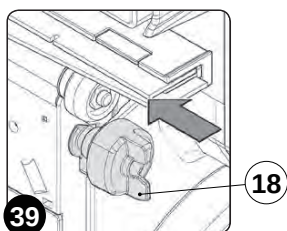
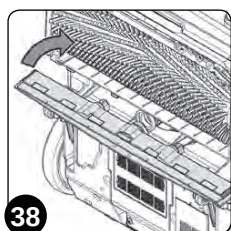
- ・スクイジーボディの蝶ネジ㉔を矢印方向に90° 回す (図 36)
- ・スクイジーコネクタのスロットからスクイジーボディを外す (図 37)
(バキュームノズルのシールをなくさないように注意)
- ・損傷/摩耗したラバーを交換する
- ・反対の順序で外したパーツを取付ける



40. スクイジーカップリングを待機位置にし、スクイジーボディを本機の方に動かす (図 38)

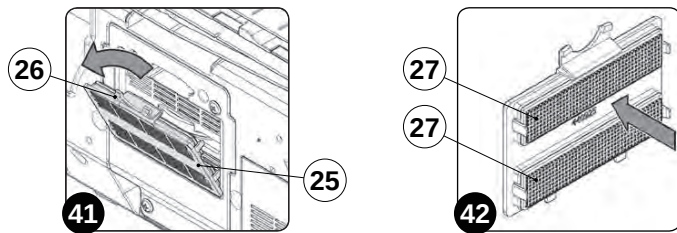
41. スクイジーを待機位置で固定し、ノブ⑮を本機側に押す (図 39) 矢印方向 (図 40) に押し込む

⚠ 注意：図 40 は本機左側を表すので、右側のノブは反対側に回すこと



42. 排気エアフィルターサポート⑳を本体から外し、矢印の方向へタブ㉑を開ける (図 ㉑)

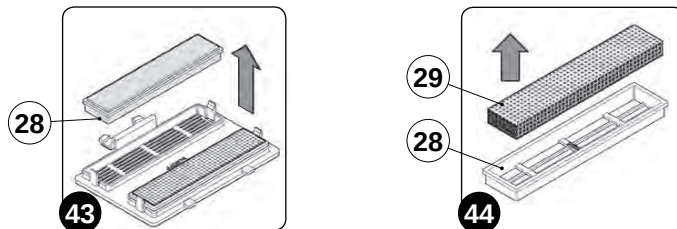
43. 蛇口から20cm以上離して水道の水でフィルターカートリッジ㉒を清掃する (図 ㉒)



排気エアフィルターを適正に清掃することで、吸引モーターの寿命を長くすることができます

フィルターカートリッジの交換方法は以下の通りです：

- ・フィルターサポート㉓からフィルターカートリッジを外す (図 ㉓)
- ・古いフィルター㉔を外し、新しいフィルターカートリッジに交換する (図 ㉔)
- ・反対の順序で取付ける



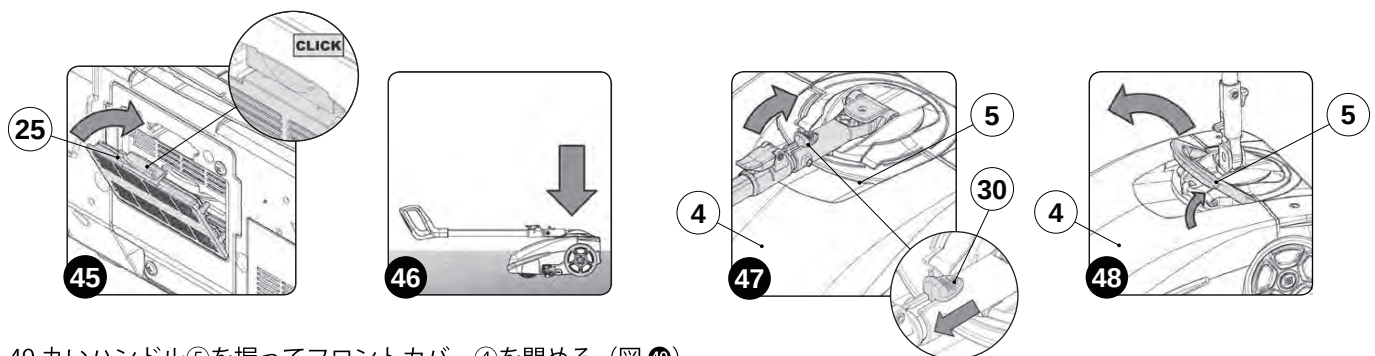
44. エアフィルターサポート㉓を本体に取付ける (図 ㉓)

45. 本機を使用するときの向きにする (図 ㉓)

46. ラッチ㉕を開放し、ハンドルバーを垂直にする (図 ㉕)

47. フロントカバーを丸ハンドル㉖を使って前方に開く (図 ㉖)

48. ふたつのタンクと洗浄液フィルターカートリッジを本体に取付ける
洗浄液タンクを先に、汚水回収タンクを後でセットする

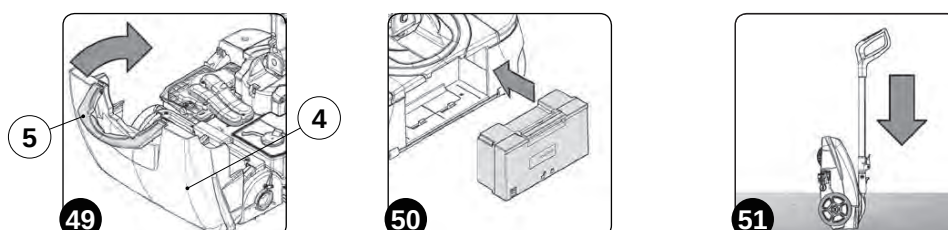


49. 丸いハンドル㉖を握ってフロントカバー㉗を閉める (図 ㉖)

50. バッテリーコンパートメントにバッテリーを挿入する (図 ㉗)

51. 本機の後部を床に付けて立てる (図 ㉗)

⚠注意：本機の保管は、平な床の屋内のスペースで、本機を損傷するもの、本機を損傷させる恐れがあるものから離して下さい



トラブルシューティング

よくあるトラブルをまとめており、この指示に従ってもトラブルが解消しないときは弊社または販売店にご連絡下さい

トラブルの症状	考えられる原因	対応方法
本機が稼働しない	メインスイッチがONになっていない	メインスイッチをONにする
	バッテリーが本体に正しく挿入されていない	本体にバッテリーを正しく挿入すること
	バッテリー充電レベルを不足している	後部のLEDで確認し、充電が足りない場合フル充電を行なうこと
バッテリーが正しく充電されない	充電ケーブルのプラグが充電器に正しく接続されていない	充電器の電源ケーブルが充電器に正しく接続されているか確認すること
	充電ケーブルのプラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認
	電源の電圧が充電器の仕様と合っていない	充電器のプレートに表示されている電源仕様と同一か確認
	充電器のLEDが点滅している	充電器の取扱説明書で、充電中に点灯する意味を確認
稼働するが清掃能力が低い	バッテリーの充電レベル、コントロールディスプレイの表示を確認	バッテリーの充電が足りない場合はフル充電を行なう
洗浄液が床面に十分供給されない	清水タンクに洗浄液が入っていない	清水タンクに給水する
	清水フィルターが詰まっている	清水液フィルターを掃除する
	散水コックが開いていない	散水コックを適切な位置に開ける
洗浄作業が正しくできない	マシンが動かない	取扱説明書の「マシンが動かない」を参照
	洗浄液の量が十分でない	取扱説明書の「ブラシに洗浄液が十分供給されない」を参照
	ブラシが正しく装着されていない	ブラシを正しくマシン装着する
	ブラシの毛が著しく消耗している	ブラシ長を確認し、必要なら交換する
床に洗浄水が残る (污水回収が悪い)	吸水経路に不具合がある	スクイジー部のゴミなどを取り除く
		バキューム経路のゴミなどをブラシを使い取り除く
		ホースに敗れ等が無いを確認し、破損があれば交換する
		スクイジー部とホースがきちんと嵌っているか確認する
	污水回収タンクが満水	污水回収タンク経路のゴミなどを取り除く污水を捨てる
	バキューム経路が詰まっている	ホースの詰まり等を除去する *下記動画を参照
回収された污水の発泡が多い	消泡剤を使用していない	污水タンクに消泡剤を入れる
	使用している洗剤が適切でない	リンレイ推奨の低発泡性洗剤を使用する

動画



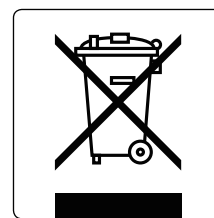
メンテナンス



トラブルシューティング

本機の廃棄

本機を廃棄する際は、産業廃棄物としてその地域の諸規則に沿って適正に処分して下さい



EC 適合の宣誓



The undersigned manufacturer:

COMAC S.p.A.

Via Maestri del Lavoro n.13
37059 Santa Maria di Zevio (VR)

declares under its sole responsibility that the products

SCRUBBING MACHINE mod. IGEA

comply with the requirements of the following Directives:

- 2006/42/EC: Machinery Directive.
- 2014/35/EU: Low Voltage Directive.
- 2014/30/EU: Electromagnetic compatibility directive.

They also comply with the following standards:

- EN 60335-1:2012/A11:2014
- EN 60335-2-72:2012
- EN 12100:2010
- EN 60335-2-29:2004/A2:2010
- EN 61000-6-2:2005/AC:2005
- EN 61000-6-3:2007/A1:2011/AC:2012
- EN 61000-3-2:2014
- EN 61000-3-3:2013
- EN 55014-1:2006/A1:2009/A2:2011
- EN 55014-2:2015
- EN 62233:2008/AC:2008

The person authorized to compile the technical file:

Mr. Giancarlo Ruffo
Via Invalidi del Lavoro, 1
37059 Santa Maria di Zevio (VR) - ITALY

Santa Maria di Zevio, 25/03/2019

COMAC S.p.A.

Legal representative
Giancarlo Ruffo

Manufacturer:

FIMAP S.p.A.

Via Invalidi del Lavoro, 1
Post code/ zip 37059 - S. Maria di Zevio (VR) - Verona - Italy
Tel. +39 045 6060411 - Fax. +39 045 6060417
E-mail: fimap@fimap.com
Web: www.fimap.com

Agent:

Comac S.p.A.

Via Maestri del Lavoro, 13
Post code/ zip 37059 - S. Maria di Zevio (VR) - Verona - Italy
Tel. +39 045 8774222 - Fax +39 045 8750303
E-mail: com@comac.it
Web: www.comac.it

お客様ご相談窓口

消耗品のご発注、メンテナンス・故障修理の連絡先は、お買い求めの弊社販売代理店、または下記までお問い合わせください

 **株式会社 リンレイ** 業務製品事業部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-10-13
東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571
名古屋 052(581)8241・福岡 092(883)7000
札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868
広島 082(232)2333・高松 087(834)2738
<https://www.rinrei.co.jp/>



COMAC S.p.A. Via Maestri del Lavoro, 13 - 37059 Santa Maria di Zevio - Verona - ITALY
Tel. 045 8774222 - Fax 045 8750303 - www.comac.it - com@comac.it

Organisation certified by Q.C.B. Italia ISO 9001:2008, ISO 14001:2015, OHSAS 18001:2007